



## 2024年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

2024年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社  
 コード番号 4543 URL <https://www.terumo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 社長CEO (氏名) 鮫島 光  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 三好 貴志 (TEL) 03-6742-8550  
 定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月27日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月27日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績 (2023年4月1日～2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		当期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	921,863	12.4	140,096	19.4	140,829	21.3	106,374	19.1	106,374	19.1	258,816	46.7
2023年3月期	820,209	16.6	117,332	1.2	116,137	1.4	89,325	0.6	89,325	0.6	176,415	△1.1

	基本的1株当たり 当期利益	希薄化後 1株当たり当期利益	親会社所有者帰属持分 当期利益率	資産合計 税引前利益率	売上収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	71.50	71.47	8.7	8.2	15.2
2023年3月期	59.50	59.48	8.4	7.6	14.3

(参考) 持分法による投資損益 2024年3月期 △20百万円 2023年3月期 171百万円

調整後営業利益 2024年3月期 156,785百万円 2023年3月期 138,025百万円

(注) 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「基本的1株当たり当期利益」及び「希薄化後1株当たり当期利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	1,831,402	1,327,090	1,327,090	72.5	893.80
2023年3月期	1,602,225	1,111,063	1,111,063	69.3	746.07

(注) 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり親会社所有者帰属持分」を算定しております。

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	146,330	△81,472	△62,079	204,883
2023年3月期	117,536	△59,121	△86,559	187,322

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	親会社所有者 帰属持分配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	19.00	—	21.00	40.00	29,946	33.6	2.8
2024年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00	32,715	30.8	2.7
2025年3月期(予想)	—	13.00	—	13.00	26.00	—	31.6	—

(注) 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2023年3月期及び2024年3月期につきましては、当該株式分割前の配当金を記載しております。なお、2025年3月期(予想)の中間配当金及び期末配当金につきましては、当該株式分割後の影響を考慮して記載しております。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後 営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	980,000	6.3	185,000	18.0	165,000	17.8	122,000	14.7	82.17

・通期業績予想前提レート：1ドル=145円、1ユーロ=155円

(注) 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益」は、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 - 社（社名） -、除外 - 社（社名） -

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(注) 詳細は、添付資料13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数

2024年3月期	1,490,697,280株	2023年3月期	1,495,365,080株
2024年3月期	5,930,404株	2023年3月期	6,149,814株
2024年3月期	1,487,841,999株	2023年3月期	1,501,229,015株

(注) 2024年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料] 5ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。
- 調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結財政状態計算書 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
(連結損益計算書) .....	9
(連結包括利益計算書) .....	10
(3) 連結持分変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報) .....	14
(1株当たり情報) .....	17
(非金融資産の減損) .....	17
(重要な後発事象) .....	18
4. その他 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当期の経営成績の概況

当社グループでは、2021年12月に次の5カ年を対象とする成長戦略を策定しました。高齢化社会における慢性疾患との共生や、ゲノム医療とAIの進化による個別化医療の本格普及といった、医療のパラダイムシフトに対応するための中長期ビジョンとして、「デバイスからソリューションへ」を掲げました。製品軸から顧客軸へフォーカスを移し、医療のエコシステム全体とより積極的にかかわることで、顧客の課題に複合的なソリューションを提案できる企業を目指して経営を推進しています。2年目となる当期の連結業績は以下のとおりです。

	前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
売上収益	820,209	921,863	12.4	6.9
売上総利益	417,369	479,174	14.8	9.1
調整後営業利益	138,025	156,785	13.6	7.9
営業利益	117,332	140,096	19.4	13.7
税引前利益	116,137	140,829	21.3	-
当期利益	89,325	106,374	19.1	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	89,325	106,374	19.1	-

当期の地域別売上収益は以下のとおりです。

地域	前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
米州	286,580	327,982	14.4	7.8
欧州	160,017	191,498	19.7	7.8
中国	71,946	79,412	10.4	8.0
アジア他	94,279	111,847	18.6	12.7
海外計	612,823	710,742	16.0	8.6
日本	207,385	211,121	1.8	1.8
合計	820,209	921,863	12.4	6.9

#### <売上収益>

売上収益は、前期比12.4%増の9,219億円となりました。

海外は、TIS（カテーテル）事業や血液センター向けビジネスの需要が拡大、為替も寄与し、前期比16.0%の増収となりました。

日本は、2022年度に譲渡したホスピタルケアソリューション事業の栄養食品の売上収益減少がありましたが、輸液関連製品や製薬企業との提携ビジネスであるファーマシューティカルソリューション事業の売上が好調に推移し、前期比1.8%の増収となりました。

#### <利益>

売上総利益は、売上収益の増加により、前期比14.8%増の4,792億円となりました。

調整後営業利益は、売上総利益の増加により、前期比13.6%増の1,568億円となりました。

営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は、売上総利益の増加及びその他の費用の減少により、いずれも増益となりました。

なお、当社グループは、当社グループが適用する会計基準であるIFRSにおいて定義されていない、調整後営業利益という業績管理指標を追加的に開示しております。調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益であり、セグメント利益と一致しています。

調整後営業利益は、当社グループが中長期的に持続的な成長を目指す上で、各事業運営の業績を把握するために経営管理に利用している指標であり、財務諸表の利用者が当社グループの業績を評価する上でも、有用な情報

であると考えております。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

報告セグメントの名称		前期	当期	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率(%)
心臓血管カンパニー	売上収益	480,610	555,716	15.6	8.8
	(海外)	428,709	502,054	17.1	9.4
	(日本)	51,900	53,662	3.4	3.4
メディカルケアソリューションズ カンパニー	売上収益	191,749	197,569	3.0	1.2
	(海外)	48,247	52,913	9.7	2.2
	(日本)	143,502	144,656	0.8	0.8
血液・細胞テクノロジーカンパニー	売上収益	147,605	168,328	14.0	8.1
	(海外)	135,866	155,774	14.7	8.3
	(日本)	11,738	12,553	6.9	6.9

<心臓血管カンパニー>

海外は、TIS（カテーテル）事業やニューロバスキュラー事業を中心に、全事業が二桁伸長し、前期比17.1%の増収となりました。日本は、血管内治療の症例数が回復し、前期比3.4%の増収となりました。

その結果、グローバルの売上収益は前期比15.6%増の5,557億円となりました。

<メディカルケアソリューションズカンパニー>

日本は、2022年度に譲渡したホスピタルケアソリューション事業の栄養食品の売上収益減少がありましたが、輸液関連製品や製薬企業との提携ビジネスであるファーマシューティカルソリューション事業の売上が好調に推移し、前期比0.8%の増収となりました。海外は、為替相場が円安に推移した影響（以下「為替影響」）により、前期比9.7%の増収となりました。

その結果、グローバルの売上収益は前期比3.0%増の1,976億円となりました。

<血液・細胞テクノロジーカンパニー>

海外は、米州、アジア他において血液センター向けのビジネスが好調に推移し、前期比14.7%の増収となりました。日本は、成分採血関連製品の売上収益が増加し、前期比6.9%の増収となりました。

その結果、グローバルの売上収益は前期比14.0%増の1,683億円となりました。

（2）当期の財政状態の概況

資産合計は、2,292億円増加して1兆8,314億円となりました。これは主に、為替影響及び売上収益増加等により営業債権及びその他の債権が281億円増加、為替影響等により棚卸資産が370億円増加、為替影響及び生産設備や新ITシステムへの投資等により有形固定資産が450億円増加、のれん及び無形資産が500億円増加したことによるものです。

負債合計は、131億円増加して5,043億円となりました。これは主に、為替影響等によりその他の流動負債が164億円増加した一方で、取引先への支払サイト短縮により営業債務及びその他の債務が40億円減少したことによるものです。

資本合計は、2,160億円増加して1兆3,271億円となりました。これは主に、当期利益の計上により1,064億円増加、為替影響等に伴うその他の包括利益の計上により1,524億円増加した一方で、自己株式の取得により111億円減少、剰余金の配当により320億円減少したことによるものです。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

（単位：百万円）

	2023年3月期	2024年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,536	146,330	28,793
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,121	△81,472	△22,351
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,559	△62,079	24,479
現金及び現金同等物の期末残高	187,322	204,883	17,560

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、1,463億円となりました。税引前利益1,408億円、減価償却費及び償却費767億円、法人所得税の支払額457億円、営業債権及びその他の債権の増加164億円が主な要因です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、815億円となりました。生産設備等への投資に伴う有形固定資産の取得による支出607億円、新ITシステムへの投資等に伴う無形資産の取得による支出180億円が主な要因です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、621億円となりました。配当金の支払額320億円、自己株式の取得による支出111億円、社債の償還による支出100億円が主な要因です。

また、上記に加えて、現金及び現金同等物に係る換算差額により148億円増加した結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は、前連結会計年度末より176億円増加して2,049億円となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
親会社所有者帰属持分比率(%)	68.7	69.3	72.5
時価ベースの会社所有者帰属持分比率(%)	191.1	166.1	221.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.8	2.3	1.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	107.8	85.6	113.0

（注）親会社所有者帰属持分比率：親会社の所有者に帰属する持分／資産合計

時価ベースの親会社所有者帰属持分比率：株式時価総額／資産合計

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※ いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※ 株式時価総額は、期末株価終値×自己株式控除後期末発行済株式総数により算出しております。

※ キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結財政状態計算書に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（4）今後の見通し

2024年度は、医療需要の増加傾向が継続し、欧米を中心に売上収益の拡大が見込まれます。マクロ環境は、電気・ガスといったエネルギー関連費用等一部で好転してきている一方で、原材料価格の高止まりやサプライチェーン混乱のリスクは継続すると見られています。このような環境下において、業績予想については、製造現場における生産性の向上、コスト削減策等、市場環境に応じた適切な対策を盛り込みました。高成長が見込まれる分野では、重点的に生産能力の拡大を中心とする設備投資を進めます。また、医療従事者の不足や院内業務効率化の推進等、医療現場の課題に向き合い、新たな価値・ソリューションを提供する事業の拡大・創出に取り組みます。

サステナビリティ経営については、5カ年成長戦略「GS26」の中で設定した、CSV/ESGに関する具体的な活動テーマとKPIに基づき、全社で推進していきます。進捗状況はサステナビリティ委員会でモニタリングし、経営会議・取締役会に定期報告を行います。

2024年度の業績見通しは以下のとおりです。

<連結業績予想について>

(単位：百万円)

	2024年3月期 業績	2025年3月期 業績予想	増減額	増減率 (%)
売上収益	921,863	980,000	58,136	6.3
調整後営業利益	156,785	185,000	28,214	18.0
調整後営業利益率	17.0%	18.9%	-	-
営業利益	140,096	165,000	24,903	17.8
営業利益率	15.2%	16.8%	-	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	106,374	122,000	15,625	14.7

2024年3月期実績レート；1ドル＝145円、1ユーロ＝157円

2025年3月期想定レート；1ドル＝145円、1ユーロ＝155円

（5）利益分配に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、高い利益性と持続的な成長を確保するため、利益の再投資を適正かつ積極的に進め、企業価値の一層の増大を図っていきます。これは、株主の皆様の利益に適うものであり、投資価値の増大につながるものと考えております。

株主の皆様への利益分配につきましては、安定した増配に加えて、自己株式取得による還元も活用し、総還元性向として50%水準を目指してまいります。

当期の年間配当金につきましては、1株につき44円とする予定です。従って、期末配当金は、既にお支払いした中間配当金1株につき22円を差し引き、1株につき22円とする予定です。

次期の年間配当金につきましては、1株につき26円（うち中間配当金13円）を予定しております。

なお、当社は、2024年4月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割しております。次期の年間配当金につきましては、当該株式分割を考慮した額を記載しておりますが、株式分割実施前の基準に換算すると中間配当金26円、期末配当金26円の年間配当金52円となります。

《おことわり》

当社の開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況等があります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上及びグローバルでのルール統一による経営管理の精度向上とガバナンス強化を目的として、2018年3月期期末決算より、国際会計基準を適用しております。



3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

資産	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
流動資産		
現金及び現金同等物	187,322	204,883
営業債権及びその他の債権	150,635	178,710
その他の金融資産	106	26,158
棚卸資産	249,618	286,599
未収法人所得税等	2,920	1,337
その他の流動資産	20,793	24,426
流動資産合計	611,396	722,116
非流動資産		
有形固定資産	370,869	415,845
のれん及び無形資産	538,210	588,225
持分法で会計処理されている投資	3,680	2,410
その他の金融資産	34,421	36,368
繰延税金資産	20,458	19,977
その他の非流動資産	23,187	46,458
非流動資産合計	990,829	1,109,286
資産合計	1,602,225	1,831,402

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	97,736	93,770
社債及び借入金	11,223	156,870
その他の金融負債	7,597	7,837
未払法人所得税等	23,563	26,467
引当金	329	213
その他の流動負債	77,551	93,992
流動負債合計	218,001	379,152
非流動負債		
社債及び借入金	220,714	74,978
その他の金融負債	29,639	30,824
繰延税金負債	8,870	3,025
退職給付に係る負債	4,703	5,939
引当金	127	112
その他の非流動負債	9,106	10,279
非流動負債合計	273,161	125,159
負債合計	491,162	504,311
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	51,759	51,752
自己株式	△11,539	△12,436
利益剰余金	874,272	954,679
その他の資本の構成要素	157,855	294,379
親会社の所有者に帰属する持分合計	1,111,063	1,327,090
資本合計	1,111,063	1,327,090
負債及び資本合計	1,602,225	1,831,402

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上収益	820,209	921,863
売上原価	402,839	442,688
売上総利益	417,369	479,174
販売費及び一般管理費	299,861	344,979
その他の収益	9,959	10,304
その他の費用	10,134	4,404
営業利益	117,332	140,096
金融収益	2,649	3,529
金融費用	4,016	2,775
持分法による投資損益 (△は損失)	171	△20
税引前利益	116,137	140,829
法人所得税費用	26,811	34,455
当期利益	89,325	106,374
当期利益の帰属		
親会社の所有者	89,325	106,374
当期利益	89,325	106,374
1株当たり当期利益		
基本的1株当たり当期利益 (円)	59.50	71.50
希薄化後1株当たり当期利益 (円)	59.48	71.47

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期利益	89,325	106,374
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	2,519	2,487
確定給付制度の再測定	6,970	16,022
純損益に振り替えられることのない 項目合計	9,489	18,509
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	77,535	133,977
キャッシュ・フロー・ヘッジ	489	296
ヘッジコスト	△425	△341
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	77,599	133,932
その他の包括利益	87,089	152,442
当期包括利益	176,415	258,816
当期包括利益の帰属		
親会社の所有者	176,415	258,816
当期包括利益	176,415	258,816

(注) 上記の計算書の項目は税引後で開示しております。

（3）連結持分変動計算書

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2022年4月1日時点の残高	38,716	51,921	△6,229	846,978	80,926	1,012,313	1,012,313
当期利益	—	—	—	89,325	—	89,325	89,325
その他の包括利益	—	—	—	—	87,089	87,089	87,089
当期包括利益合計	—	—	—	89,325	87,089	176,415	176,415
自己株式の取得	—	△56	△50,003	—	—	△50,059	△50,059
自己株式の処分	—	△17	138	—	△121	0	0
自己株式の消却	—	△44,430	44,430	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	△27,924	—	△27,924	△27,924
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	44,224	—	△44,224	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	10,116	△10,116	—	—
株式報酬取引	—	117	123	—	76	318	318
所有者との取引額合計	—	△162	△5,310	△62,031	△10,161	△77,665	△77,665
2023年3月31日時点の残高	38,716	51,759	△11,539	874,272	157,855	1,111,063	1,111,063
当期利益	—	—	—	106,374	—	106,374	106,374
その他の包括利益	—	—	—	—	152,442	152,442	152,442
当期包括利益合計	—	—	—	106,374	152,442	258,816	258,816
自己株式の取得	—	△7	△11,100	—	—	△11,107	△11,107
自己株式の処分	—	△109	194	—	△84	0	0
自己株式の消却	—	△9,788	9,788	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	△32,020	—	△32,020	△32,020
利益剰余金から資本剰余金への振替	—	9,866	—	△9,866	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	15,919	△15,919	—	—
株式報酬取引	—	32	219	—	86	338	338
所有者との取引額合計	—	△7	△896	△25,967	△15,917	△42,789	△42,789
2024年3月31日時点の残高	38,716	51,752	△12,436	954,679	294,379	1,327,090	1,327,090

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前利益	116,137	140,829
減価償却費及び償却費	70,238	76,745
減損損失	5,338	3,415
持分法による投資損益 (△は益)	△171	20
退職給付に係る資産及び負債の増減額	1,427	769
受取利息及び受取配当金	△1,620	△2,518
支払利息	2,230	2,065
為替差損益 (△は益)	1,675	780
固定資産除売却損益 (△は益)	△5	173
事業等譲渡益	△3,855	—
関係会社株式売却益	—	△1,335
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△8,480	△16,420
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△39,256	△9,211
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	10,474	△4,996
その他	△9,845	△319
小計	144,287	189,998
利息及び配当金の受取額	2,276	3,307
利息の支払額	△1,372	△1,295
法人所得税の支払額	△27,655	△45,681
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,536	146,330
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△242	△1,331
定期預金の払戻による収入	1	4
有形固定資産の取得による支出	△52,697	△60,727
有形固定資産の売却による収入	510	762
無形資産の取得による支出	△19,476	△18,047
有価証券の取得による支出	△1,361	△4,936
有価証券の売却による収入	5,988	6
関係会社又はその他の事業の取得による支出	△142	△559
関係会社株式の売却による収入	—	2,921
事業等の譲渡による収入	8,298	433
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,121	△81,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	677	—
短期借入金の返済による支出	△677	—
長期借入金の返済による支出	△1,242	△1,325
社債の償還による支出	—	△10,000
リース負債の返済による支出	△7,331	△7,632
自己株式の取得による支出	△50,085	△11,111
配当金の支払額	△27,900	△32,010
財務活動によるキャッシュ・フロー	△86,559	△62,079
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,215	14,782
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,929	17,560
現金及び現金同等物の期首残高	205,251	187,322
現金及び現金同等物の期末残高	187,322	204,883

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

当社グループは、当連結会計年度より以下の基準を適用しております。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IAS第12号	法人所得税	リース及び廃棄義務等の取引（企業が資産と負債の両方を認識する取引）の繰延税金の会計処理を明確にするための改訂
IAS第12号	法人所得税	第2の柱法人所得税に関する特定の情報を開示することを要求する改訂

上記基準書の適用による当連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、社内カンパニー制を基礎とした製品群別のセグメントから構成された「心臓血管カンパニー」、「メディカルケアソリューションズカンパニー」及び「血液・細胞テクノロジーカンパニー」の3つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントの主な製品

報告セグメント	サブセグメント	主要製品
心臓血管カンパニー	TIS(カテーテル)	血管造影用ガイドワイヤー、血管造影用カテーテル、イントロデューサーシース、大腿動脈穿刺部止血デバイス、PTCA用バルーンカテーテル、冠動脈ステント、末梢動脈疾患治療用ステント、超音波画像診断装置、血管内超音波カテーテル 他
	ニューロバスキュラー	脳動脈瘤治療用コイル・ステント・袋状塞栓デバイス、虚血性脳梗塞治療用吸引カテーテル・除去デバイス 他
	カーディオバスキュラー	人工肺、人工心肺装置 他
	血管	人工血管、ステントグラフト 他
メディカルケアソリューションズカンパニー	ホスピタルケアソリューション	シリンジ(注射筒)、輸液ポンプ、シリンジポンプ、輸液セット、輸液剤、腹膜透析液、鎮痛剤、癒着防止材 他
	ライフケアソリューション	血糖測定システム、ペン型注入器用注射針、インスリンポンプ、電子血圧計、電子体温計 他
	ファーマシューティカルソリューション	プレフィルドシリンジ製剤製造受託、製薬企業向け製品(薬剤充填用シリンジ、医薬品同梱用注射針) 他
血液・細胞テクノロジーカンパニー	-	血液バッグ、成分採血システム、血液自動製剤システム、病原体低減化システム、遠心型血液成分分離装置、細胞増殖システム、原料血漿採取システム 他



(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メデイカル ケアソリューションズカン パニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	480,610	191,749	147,605	819,965	243	820,209
セグメント利益 (調整後営業利益)	112,155	14,848	11,163	138,167	△142	138,025
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△8,951	—	△10,020	△18,972	156	△18,816
一時的な損益(注) 2						△1,876
営業利益						117,332
金融収益						2,649
金融費用						△4,016
持分法による投資損益						171
税引前利益						116,137
その他の項目						
減価償却費及び償却費 (注) 3	35,247	15,927	18,891	70,066	171	70,238
有形固定資産及び 無形資産の増加額	31,936	20,885	21,486	74,308	1,465	75,774

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 外部顧客への売上収益の調整額243百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- セグメント利益の調整額△142百万円には、棚卸資産の調整額349百万円、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△3,540百万円等が含まれております。
- 一時的な損益△1,876百万円には、技術資産の減損△1,775百万円、のれんの減損△3,563百万円、事業再編費用△2,541百万円、条件付対価の公正価値変動1,347百万円、事業等譲渡益3,855百万円等が含まれております。
- 減価償却費及び償却費には買収無形資産の償却費を含めております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	メディカル ケアソリューションズカン パニー	血液・細胞 テクノロジー カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	555,716	197,569	168,328	921,614	248	921,863
セグメント利益 (調整後営業利益)	123,850	19,789	16,394	160,034	△3,249	156,785
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△9,553	—	△10,642	△20,195	167	△20,028
一時的な損益(注) 2						3,339
営業利益						140,096
金融収益						3,529
金融費用						△2,775
持分法による投資損益						△20
税引前利益						140,829
その他の項目						
減価償却費及び償却費 (注) 3	37,361	16,769	20,697	74,828	1,916	76,745
有形固定資産及び 無形資産の増加額	41,536	15,634	17,256	74,427	3,999	78,426

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額248百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額△3,249百万円には、棚卸資産の調整額△1,370百万円、欧州医療機器規則(MDR)への適合に伴う準備費用△2,831百万円等が含まれております。
2. 一時的な損益3,339百万円には、受取和解金3,385百万円、オリンパステルモバイオマテリアル株式会社の株式売却に伴う関係会社株式売却益1,335百万円、事業再編費用△2,338百万円、条件付対価の公正価値変動453百万円等が含まれております。
3. 減価償却費及び償却費には買収無形資産の償却費を含めております。

（1株当たり情報）

当社の普通株主に帰属する基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定基礎は以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社の普通株主に帰属する当期利益(百万円)	89,325	106,374
当期利益調整額	—	—
希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する 当期利益(百万円)	89,325	106,374
期中平均普通株式数(株)	1,501,229,015	1,487,841,999
普通株式増加数		
ストック・オプション(株)	642,038	561,416
希薄化後の期中平均普通株式数(株)	1,501,871,053	1,488,403,415
基本的1株当たり当期利益(円)	59.50	71.50
希薄化後1株当たり当期利益(円)	59.48	71.47

- (注) 1. 基本的1株当たり当期利益は、親会社の普通株主に帰属する当期利益を、連結会計年度中の発行済普通株式の加重平均株式数により除して算出しております。
2. 当社は2024年4月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「基本的1株当たり当期利益」及び「希薄化後1株当たり当期利益」を算定しております。

（非金融資産の減損）

当連結会計年度に認識した減損損失3,415百万円は、主に以下の理由によるものです。

（1）一部生産設備の使用中止

当連結会計年度において、血液・細胞テクノロジーカンパニーに属する一部生産設備の使用の中止を決定したことにより、減損損失1,860百万円を計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。建設仮勘定について認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「売上原価」に含まれております。

（2）一部の開発の中止

当連結会計年度において、血液・細胞テクノロジーカンパニーに属する一部の開発の中止を決定したことにより、減損損失1,266百万円を計上しております。

なお、回収可能価額は使用価値により測定しており、その価値はゼロとしております。開発資産について認識した当該減損損失は、連結損益計算書の「販売費及び一般管理費」に含まれております。

（重要な後発事象）

（株式分割）

当社は、2024年2月7日開催の取締役会決議に基づき、2024年4月1日を効力発生日として、以下のとおり株式分割を行いました。

1. 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様により投資しやすい環境を整えることを目的としています。

2. 株式分割の概要

（1）分割の方法

2024年3月31日（同日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2024年3月29日）最終の株主名簿に記録された株主の所有普通株式1株につき、2株の割合をもって分割しています。

（2）分割により増加する株式数

普通株式	745,348,640株
------	--------------

（3）日程

① 基準日公告日	2024年3月11日
② 基準日	2024年3月31日
③ 効力発生日	2024年4月1日

（4）1株当たり情報に及ぼす影響

1株当たり情報に及ぼす影響は、（1株当たり情報）に反映されています。

（社債の発行）

当社は、2023年12月14日開催の取締役会決議に基づき、2024年4月25日を払込期日とする無担保社債を下記の条件にて発行しました。

テルモ株式会社第10回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（3年債）

1. 発行総額	400億円
2. 発行価格	各社債の金額100円につき金100円
3. 利率	年0.519%
4. 払込期日	2024年4月25日
5. 償還期限	2027年4月23日
6. 償還方法	満期一括償還
7. 資金の使途	2024年4月末日返済期日の借入金返済資金に充当

テルモ株式会社第11回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（5年債）

1. 発行総額	300億円
2. 発行価格	各社債の金額100円につき金100円
3. 利率	年0.686%
4. 払込期日	2024年4月25日
5. 償還期限	2029年4月25日
6. 償還方法	満期一括償還
7. 資金の使途	2024年4月末日返済期日の借入金返済資金に充当

（重要な借入）

当社は、2023年12月14日開催の取締役会決議に基づき、株式会社みずほ銀行及び株式会社三菱UFJ銀行をアレ  
ンジャー、株式会社みずほ銀行をエージェントとするシンジケート・ローン契約を2024年4月23日付で締結し、  
2024年4月25日付で借入を行いました。

1. 借入の目的 主に2024年4月末日返済期日の借入金返済資金に充当
  2. 借入先の名称 取引金融機関等22社
  3. 借入金額及び利率 300億円、固定金利
  4. 借入実行日 2024年4月25日
  5. 返済期日 2026年4月24日
  6. 担保提供資産 なし
  7. 財務制限条項
    - ・2025年3月期決算以降、各年度の決算期の末日における連結財政状態計算書上の資本合計の金額を当該決  
算期の直前の決算期の末日又は2024年3月決算期末日における連結財政状態計算書上の資本合計の金額の  
いずれか高い方の金額の75%以上に維持すること。
    - ・2025年3月期決算以降の決算期を初回の決算期とする連続する2期について、各年度の決算期における連  
結損益計算書に示される税引前利益からその他の収益を控除し、その他の費用を足し戻した金額が2期連  
続して損失とならないようにすること。
- なお、本条項の遵守に関する最初の判定は、2026年3月決算期及びその直前の期の決算を対象として行われ  
る。

4. その他

生産、受注及び販売の状況

[1] 生産実績

報告セグメント	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) (百万円)	前期比 (%)
心臓血管カンパニー	576,606	12.9
メディカルケアソリューションズカンパニー	192,891	4.3
血液・細胞テクノロジーカンパニー	173,166	7.2
合計	942,664	10.0

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の内部振替前の数値によっております。  
2. 報告セグメントに含まれる製品は、14ページ「各報告セグメントの主な製品」をご覧ください。

[2] 受注実績

当社グループは主として見込み生産を行っているため、受注実績の記載をしておりません。

[3] 販売実績

報告セグメント	サブセグメント	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日) (百万円)	前期比 (%)
心臓血管カンパニー	TIS(カテーテル)	364,468	14.1
	ニューロバスキュラー	83,153	17.3
	カーディオバスキュラー	62,108	14.0
	血管	45,985	28.4
メディカルケアソリューションズ カンパニー	ホスピタルケアソリューション	134,551	3.7
	ライフケアソリューション	22,930	△7.3
	ファーマシューティカル ソリューション	40,086	7.7
血液・細胞テクノロジーカンパニー	-	168,328	14.0
調整額		248	2.1
合計		921,863	12.4

(注) 調整額248百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。